



DRIVE RECORDER



ドライブレコーダー

XLDR-801

MODEL:XLDR-801



Video



AV Out



G-sensor



SD Card



PC Viewer



GPS



EMS



Speed Sens.

取扱説明書

- このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。本製品取扱説明書は本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な事項が掲載されています。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから取付を行いご使用ください。
- お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管し必要になった時に取り出せるようにしてください。

目次

お使いになる前に	2
安全上のご注意	3
製品の使用前の注意事項	5
SDカードご使用に関する注意事項	6
各部の名称とはたらき	7
取付上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
ドライブレコーダーを使う	13
音声ガイダンス機能の説明	15
画像保存フォルダとファイル名の構造	16
ナビゲーション接続	17
外部映像機器を使用した映像を確認する方法	18
専用ビューアーをインストールする方法	19
専用ビューアーの機能説明と映像確認する方法	21
F A Q(よくある質問)	24
その他の注意事項 / 故障かな?と思ったら	25
本体ソフトウェア(ファームウェア)のアップデート方法	26
映像のバックアップを取る	27
いらない映像を削除する	28
製品仕様	29
E M S 運行管理システム	30
運行管理システムをインストールする方法	31
運行管理システムの使用方法	33

お使いになる前に

この度はドライブレコーダー【XLDR-801】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を感知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。またお読みになった後も大切に保管し、必要な時に取り出してお読みください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を感知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源コードが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。当社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯しているように撮影されることがあります。LED 信号機が映らないことに際しまして当社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして当社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存が出来なかった場合でも、当社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品本体及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源コードを抜いてください。



電源コードを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。コードが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本機は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。



本機に強い衝撃を与えたり、高い所から落とさないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本機をお手入れする場合は、電源コードを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・科学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本機が外れて事故やケガの原因となります。



外国車等の一部車種では、エンジンを止めても電源を供給し続ける車種があります。エンジンを切っても本機の電源が切れない場合は、電源ケーブルを抜いてください。



本機を取り付けする時は、必ず付属の取付部品、スペーサーを使用してください。指定以外の部品を使用すると本機が損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあります危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



付属の電源ケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がON状態または、映像記録中にSDカードを取り出すと記録データとSDカードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

製品の使用前の注意事項

- ・ 製品を使用する前にマニュアルを確認し、安全に正しくお使いください。
- ・ SDカードご使用に関しての注意事項をよくお読みください。(P.6)

■ 本製品は常時録画、イベント録画機能で映像を保存する方式です。

■ イベント録画 (手動、衝撃) テストして正しく録画されるか確認してからご使用ください。

■ 電源が OFF 状態の場合も、青 LED が点灯状態のときは、絶対に SD カードを製品から取り外さないでください。映像データ破損や製品の不具合が発生する可能性があります。

■ SD カードが正しく挿入されている状態で青 LED が点灯しない場合、正常な機能を行うことができない状態です。正しく挿入してください。

本製品は常時およびイベント録画方式で映像を保存するものですがすべての映像記録を保証するものではありません。

■ 重要な映像は他の媒体 (CD や USB メモリ など) へバックアップすることをお勧めします。

■ 商品受け取りの際に日付、時刻を設定してください。出荷時の日付、時刻、設定は初期値に設定されています。(GPS※接続時は自動的に設定されますので個別設定は必要はありません。)

■ 付属の SD カード内の CDVR_Player_Setup(バージョン) .exe を実行して専用のビューアーを PC 内にインストール (P.19 参照) した後に、SD カードをドライブレコーダー本体でフォーマットしてからお使いください。

パソコンでのフォーマットはフォーマット形式が異なる場合があるため、ご使用をお控えいただくようお願いします。

※ SD カードにはビューアーソフトウェアが同梱されていますが、一旦フォーマットされるとファイルが消されてしまいますので弊社ホームページよりダウンロードしてください。<http://www.watex-net.com/xldr801-viewer.html> または、Smart Manager 画面 (P.26 参照) よりダウンロードしてください。

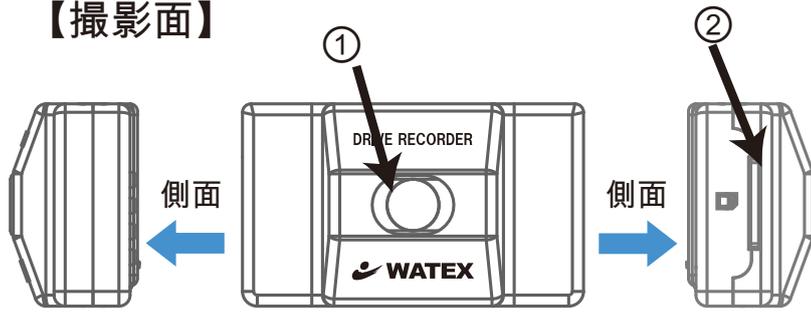
SDカードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属のSDカードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合がございます。その場合には動作の保証はいたしかねます。
 - SDカードの取り出しは、電源が完全に切れている状態であることをご確認の上、行ってください。電源が入っている状態や製品の動作中にカードの取り出しや挿入が行われますと、カードの破損や記録データ損失など誤動作を起こす場合がございます。
 - SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成され、不良セクタを含む場合がございます。不良セクタにはデータ書き込みが行われませんが繰り返しデータ記録が行われると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見掛け上の記録できる領域が減少してしまいます。通常の記録時には不良セクタは削除されませんので、安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めいたします。(P.9 参照)
 - SDカードをドライブレコーダー本体でフォーマットすると (P.9 参照) Smart Manager ファイル※が生成されます。(P.26 参照)
- ※Smart Manager ファイルの生成されたSDカードをパソコン上に挿入すると Smart Manager 画面が起動し、ビューアー起動、ビューアーダウンロード、本体ソフトウェア (ファームウェア) ダウンロードが行えます。
- ※自動的に Smart Manager 画面が起動しない場合は、SD カード内の Smart Manager.exe をダブルクリックして起動してください。
- ※ビューアーのインストール時や起動時にごく稀ではございますが、ウイルス検出ソフトが反応してしまう場合がございます。SD カードには、Autorun.inf というファイルが生成されていますので、アンチウイルスソフトの設定で、「このプログラムの拒否を解除します」または、「ブロックを解除」にしてご使用ください。
- SDカードは消耗品ですので、定期的に新しいカード (推奨品) への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合がございます。
 - なお、データは上書きまたは消去されますので、重要なデータは別の媒体 (USB メモリ、CD など) での保管をお勧めします。

各部の名称とはたらき

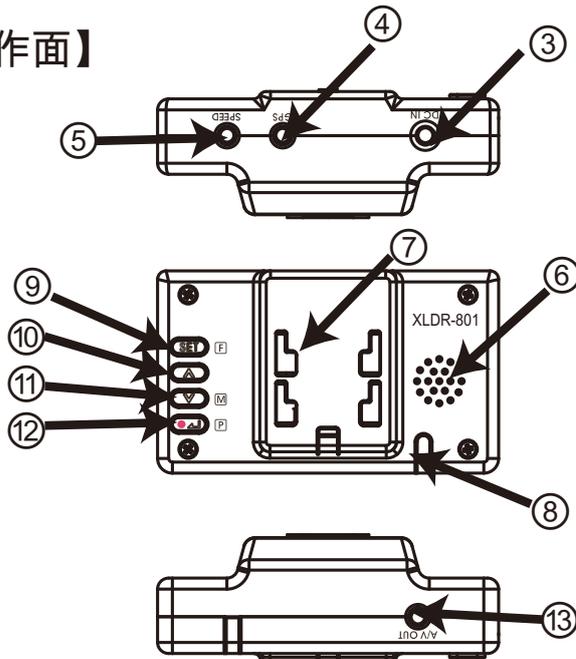
〈製品本体の各部名称〉

【撮影面】



- ① カメラ
- ② SDカードスロット
- ③ 電源接続コネクタ
- ④ GPS入力
- ⑤ 車速パルス入力

【操作面】



- ⑥ スピーカー
- ⑦ ブラケット差込口
- ⑧ LEDランプ
- ⑨ SETボタン
- ⑩ ▲メニューアップボタン
- ⑪ ▼メニューダウンボタン
- ⑫ REC(録画)ボタン / メニュー選択
- ⑬ 外部映像(A/V)出力

< 付属品 >

電源ケーブル (12 / 24V)		GPS	車速センサーケーブル	SDカード	電源ケーブル用固定クリップ
(XLDR-801-S用)	(XLDR-801-B用)				
シガージャックケーブル	配線ケーブル			SDカードリーダー	

ブラケット

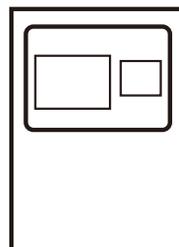


(ブラケット取付用)
両面テープ付き

EMS 運行管理システム CD



保証書



取扱説明書 (本書)



オプション (別売品)

RCA ケーブル
搭載車ステッカー



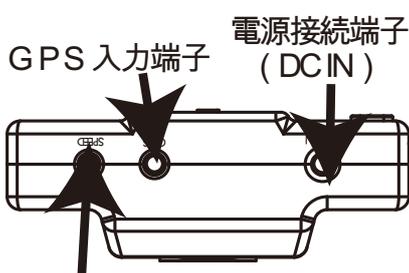
各部の名称とはたらき (つづき)

《各部の説明及び機能と状態表示LEDの説明》

1) 端子の説明

- ・ 電源接続端子 (DC IN)
- ・ GPS 入力端子：外付け GPS 受信機の接続端子運行速度や位置などを記録し、日付、時刻の自動設定を行います。
- ・ 外部映像 (AV) 出力端子 (AV OUT): AV ケーブルを接続して映像機器 (ナビゲーション) A/V 入力端子に接続するとリアルタイムの映像や録画映像を確認、設定値の変更確認が可能です。(付属ケーブルとナビゲーションが合っていない場合は別途購入して下さい)

【本体上面】

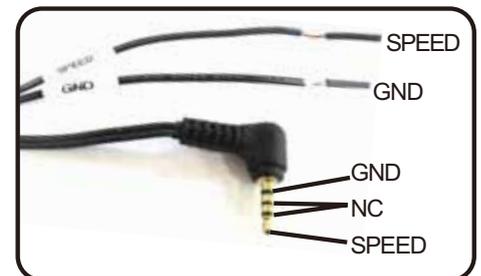


※車速信号の取り出しは、お使いの車両によって異なりますので車両購入されました販売店にご相談ください。

【本体下面】



【車速センサーケーブルの極性】

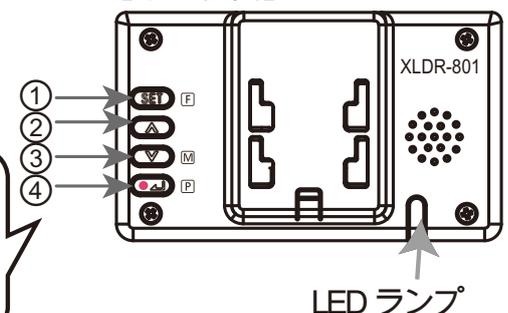


SPEED: 車速パルスケーブルと接続
GND: 本体 (アース) と接続

2) メニューボタンの説明

- ・ SET ボタン：機能の設定、およびキャンセルボタン
- ・ ▲：メニューアップボタンおよび音量アップボタン
- ・ ▼：メニューダウンボタンおよび音量ダウンボタン
- ・ REC (録画) ボタン：手動録画とメニュー選択ボタン

【本体裏面】



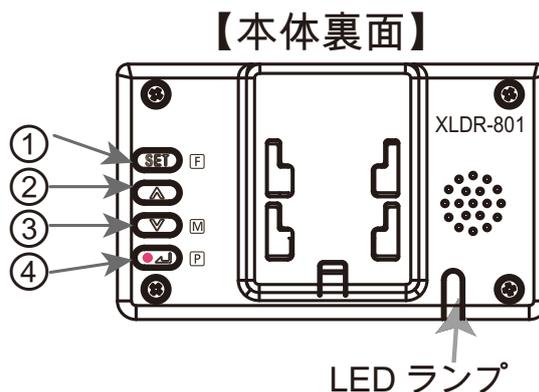
3) 状態表示 LED (LED ランプ) ※P15 参照

青 LED	点 灯	常時録画
	点 滅	イベント録画
赤 LED	点 滅	走行中 ECO (経済速度) を超えた場合 (GPS 装着時)
紫 LED	点 滅	エラー発生 (製品および SD カード関連エラー)
青 / 赤 LED	クロス点滅	アップグレード中 / フォーマット中

各部の名称とはたらき (つづき)

《ワンタッチ機能ボタンの説明》

- ① SET ボタン
- ② メニューアップボタン
- ③ メニューダウンボタン
- ④ REC(録画) ボタン



1) フォーマット機能

SD カードを初期化する機能で安定的な映像録画の管理。

① SET ボタンを 5 秒以上押すと音声案内後、SD カードがフォーマットされます。

※ SD カードを上記の方法でフォーマットすると、SD カード内に Smart Manager ファイルが生成されます。(P.6、P.26 参照)

2) 音量調節機能

②③メニューアップ / ダウンボタンを使用して音量調整が可能です。(6 段階 : 0~5)
ただし、エラーと注意事項の音声案内は音量が調整が出来ません

3) 音声録音の有効 / 無効機能

③メニューダウンボタンを 3 秒以上押すと、音声案内と一緒に録音機能が有効 / 無効に切り替わります。

4) 手動録画機能

手動で④録画ボタンを短く押すと音声案内と一緒にイベント録画を開始します。

※ フォーマットを実行すると、挿入されているSDカード内のデータが全て削除されます。データはあらかじめPC内のハードディスク等に保存してからフォーマットしてください。

※ ドライブレコーダー本体でフォーマットを実行すると、Smart Manager ファイルが生成されます。(P.26 参照)

※ 使用するSDカードの容量によってフォーマットの所要時間は異なります。

取付上の注意事項

本製品は製品特性上、本体がしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取付作業にあたっては本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解し、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中にはがれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 気温が低いと粘着力が弱くなります。冬季の寒い時期に取り付ける際はドライヤー等を使用して、粘着面を暖めてから貼ってください。なお、本体にはドライヤー等をかけないでください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなる場合があります。出来るだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取付位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼ムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間は出来るだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取付位置は車両フロントガラス上部で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。

ドライブレコーダーを取り付ける

取付位置を決めるにあたり、まず以下の点をチェックしてください。

1. ルームミラーの裏側あたり、運転席から見て視界を妨げない位置
2. フロントガラス全体の長さから見て上部20%以内の位置
3. 取り付けた後もルームミラーが動かせる位置
4. 付属のSDカードが容易に抜き差し出来る位置
5. 雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置
6. 撮影範囲にサンシェードやフィルムがコートされていない位置



養生テープなどの貼り直しが効くテープで仮留めし、上記の点を確認してください。付属のテープは粘着力が非常に強く、貼り直しがききませんので、作業は慎重に行ってください。

【取付方法】

(1) 取付面(ガラス面)の汚れを布等でキレイに拭き取ります。付属の取付ホルダーを本体にはめ込み、両面テープを剥がし、下図のように取り付けます。

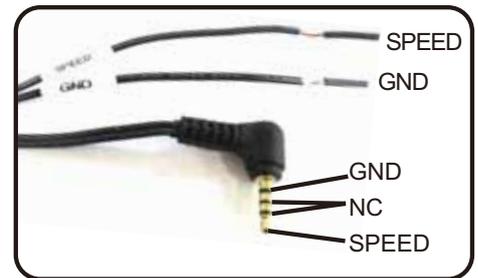
【乗用車取付け例】



【大型車取付け例】



【車速センサーケーブルの極性】



SPEED: 車速パルスケーブルと接続
GND: 本体(アース)と接続

【乗用車の場合】



【大型車の場合】



※映像の基準に必要となりますので車体の一部が写る角度に調整してください。

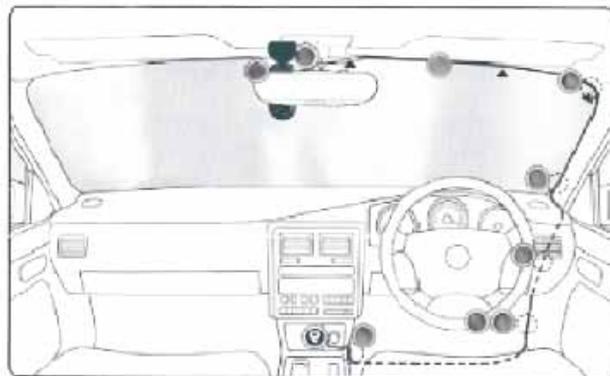
※車速パルスケーブルの取り付けは、危険を伴いますので車両を購入された販売店にご相談ください。

ドライブレコーダーを取り付ける（つづき）

(2) 電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

【配線上の注意】

- ・ クランプ等を用い、上図のように適当な間隔で配線を固定してください。
- ・ ドアに挟まる位置や乗員の足元等には配線しないでください。(断線の原因となります)
- ・ 運転に支障が生じますので、車内に配線を垂れ下げるようなことはおやめ下さい。



【車速パルス取り出し配線方法】



ご注意

- ・ テスター、ドライバー、ニッパー、スパナまたはボックスレンチ等、取付時に工具が必要になる場合があります。
- ・ 取付には専門の知識が必要になります。取付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

・ 事前に車両の配線図を入手した上、車速パルス取り出し位置を確認しておいてください

1) バッテリーのマイナスアースを外す

❗ 不用意にショートすることを防止するために必ず実施してください

2) 車両側の車速パルスケーブルの被服をワイヤストリッパで剥く(1cm程度)

❗ 芯線に傷をつけないように注意してください

3) 車速センサーケーブルの「SPEED」側を車速パルスケーブルに巻きつける

❗ 半田付けやカシメ接続などにより外れないように接続してください

❗ 市販のエレクトロタップ等の接続具は推奨しません

4) 接続箇所にはビニルテープを巻き、絶縁する

❗ 金属部分が露出したままでは、重大事故につながる恐れがあります

5) 車速センサーケーブルの「GND」側を車体金属部に確実に接続する

❗ 不安定状態では接触不良が発生し、重大事故につながる恐れがあります

6) X L D R - 8 0 1 に車速センサーケーブルを接続する

7) バッテリーのマイナスアースを元に戻す

【仮留め、テスト撮影】

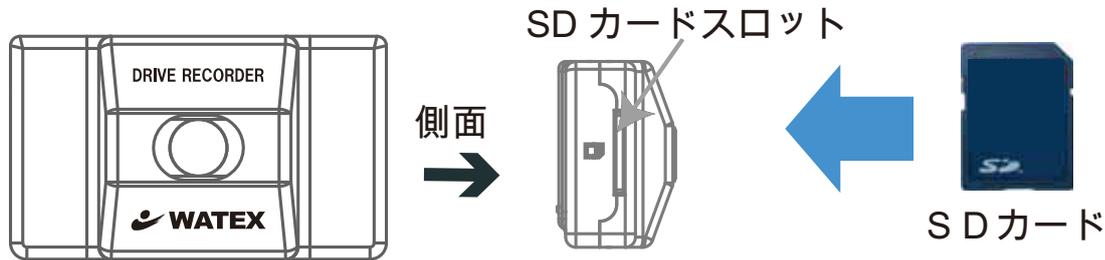
位置を決めたら、一旦撮影(テスト撮影)を行ってください。付属のビューアーをインストールし(19ページ参照)映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしてないか確認してください。問題無いようであれば本取付を行います。



ドライブレコーダーを使う

SDカードを差し込んでエンジンをかければ、本製品の電源がONになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) SDカードスロットにSDカードを挿入します。



! SDカードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

※弊社が推奨するSDカードを使用してください。

※市販品のSDカードの中には本機で認識されなかったり録画できないことがあります。(相性問題)

※確実に記録する為に、1～2週間に1回はドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。
(P.9 参照)

2) 車のエンジンを始動すると本製品の電源が入ります。

①状態表示 青LEDが点灯します

②SDカードが未挿入、またはエラーが発生するとエラー音声がでて紫LEDが点滅します。

3) 映像を記録します。

①常時映像記録

リアルタイムの映像がSDカード(NORMALフォルダ)に自動保存されます。

②衝撃検知による映像の記録

設定された値以上の衝撃を感知すると、衝撃前10秒から衝撃後20秒まで30秒間の映像をSDカード(EVENTフォルダ)に記録されます。

③手動による映像記録

手動での録画ボタンを押す10秒前から20秒後までの30秒間の映像をSDカード(EVENTフォルダ)に記録されます。

④映像記録のうち、外部の衝撃によって電源が遮断されても最後の映像を安定的に保存するための機能が内蔵されています。

⑤映像記録停止

エンジンを切ると自動的に停止されます。エンジンを切っても電源が切れない車種につきましては電源ケーブルを抜いてください。

ドライブレコーダーを使う(つづき)

【車速パルス設定方法】

ご購入時一度だけ設定をお願いします

始めにGPSアンテナ、車速パルスケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

①GPS電波を受信すると「GPSを受信しました」メッセージが流れますので、時速40～60kmの範囲内で1分以上走行してください。正しく設定されると「車速設定が完了しました」のメッセージが流れます。

※何らかのエラーがあった場合、「車速設定エラーです」のメッセージが流れますので、再設定をお願いします。

②設定終了後、最初に60kmに到達したとき「現在の速度は60kmです」というメッセージが流れますので速度計の値をご確認ください。

※著しく異なっていた場合には再設定をお願いします。

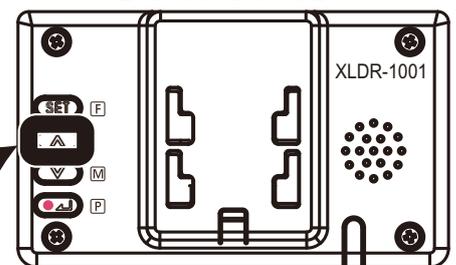
《再設定方法》

ドライブレコーダー本体のメニューアップボタン長押し

→メッセージ「車速設定が解除されました」

メニューアップボタン

【本体裏面】



※正しく設定できていないとき以外は再設定を行わないでください。

！ ご注意

- ヒューズボックスの常時電源に直接接続する際には映像が継続保存されます。
- 電源が接続されているときにSDカードの抜き差しを行いますとカード破損や誤動作を起こす場合がございますので、青LEDが消灯した後に行ってください。

※ お願い

- 車速パルスは車両によって内容が異なります。本製品はGPSを利用して自動調整を行いますのでGPSが安定して受信できる状況で時速40km～60kmで1分間走行してください。

音声ガイダンス機能の説明

音量調整	音声案内	本体状態	LED 状態
可	安全運転の為シートベルトをお閉め下さい。	電源が入った時と再起動時	青点灯
不可	メモリーカードエラーです。	SDカードエラー時	紫点滅
不可	メモリーカードが入っていません。	SDカードが入っていない時	紫点滅
可	シャッター音	衝撃を検出した時 手動で記録したとき	青点滅
不可	メモリーカードのフォーマットをお勧めします。セットボタンを5秒間押して下さい。	フォーマット時点から20日経過時 ※ドライブレコーダー本体の電源を入れた日のみカウントされます。	青点灯
不可	メモリーカードを初期化しています。	フォーマット時	青/赤クロス点滅
可	システムを再起動します。	フォーマットまたはアップグレード完了時	紫点滅
不可	アップグレードを開始します。電源を切らないで下さい。	アップグレード時	青/赤クロス点滅
可	機能設定モードです。	機能設定モード時	青点灯
可	音声録音開始 / 音声録音停止	音声録音開始 / 音声録音停止	青点灯
可	GPSを受信しました。	GPS受信時	青点灯
可	スピードの出し過ぎに注意して下さい。	設定された経済速度を超えた時	赤点滅
可	長時間アイドリングが続いています。	長時間電源が入った状態で停車している時	青点灯
不可	お疲れ様でした。	電源を切ったとき	紫点滅
可	車速設定が完了しました。	車速設定が正しく完了したとき	青点灯
可	車速設定エラーです。ピピピ	車速設定が正しく完了しないとき	青点灯
可	車速設定が解除されました。	車速設定が解除されたとき	青点灯
可	現在の速度は60km/hです。	車速設定完了後、はじめに60km/hに達したとき	青点灯

画像の保存フォルダとファイル名の構造

1) SD カードに保存された動画ファイル名の構造

ファイル名で常時録画、イベント録画、録画日付、時刻を確認することができます。

例) S100903_082826FN

S	10	09	03_	08	28	26	FN
	年度 (2010)	月 (9月)	日 (3日)	時 (08時)	分 (28分)	秒 (26秒)	録画方式



録画方式	FN	NORMAL	常時録画
	FE	EVENT	イベント(衝撃、手動)録画

2) フォルダ構造とファイル構造

- RECORDING フォルダ (映像録画関連のフォルダ) NORMAL、EVENT
- SETUP フォルダ (録画映像の情報ファイル、環境設定の保存ファイル、GPS Data)
- UPGRADE フォルダ

ナビゲーション接続

設定を変更する時は【別売品】RCA ケーブル (映像信号) を本体の A/V 出力端子とナビゲーションの A/V 入力端子に接続する必要があります。

(ナビゲーション端子に合うケーブルのお買い上げ時は端子プラグの極性を確認してナビゲーションメーカーにお問い合わせください。XLDR-801 プラグの極性は、P24. を参照して下さい。)

1) ナビゲーションに接続して環境設定の変更時の機能ボタンを使用する方法

①XLDR-801 の【別売品】RCA ケーブルと外部映像機器を接続します。

②SET ボタンを押すと環境設定ウィンドウが開かれます。

③方向ボタン を使用してメニューを選択します。

④メニューを選択し、変更時はメニュー選択ボタンを押します。

※ 注意事項

30 秒以上のボタン入力がない場合は設定メニューから自動的に戻り、映像録画を開始します。

2) OSD 機能の設定メニュー

No	環境設定メニュー
1	(録画フレーム数) Frame Rate :3 段階 ※ 30 / 25 / 20
2	(センサー感度調整) G-Sensor Set : 5 段階 Low / Lo-Mid / Middle / Mid-Hi / High
3	Time Set
4	SD Card Format
5	Default Set
6	Player
7	Exit



※ Frame Rate を変更するとファイルシステム安定のため、SD カードがドライブレコーダー本体で自動的にフォーマットされますのでご注意ください。(P.9 参照)

外部映像機器を使用した映像を確認する方法

製品はプレイヤー機能を内蔵しており、事故現場等ですぐに映像機器（ナビゲーションなど）を使って撮影映像を確認することができる利点があります。

- 1) 【別売品】に RCA ケーブルがございます。ナビゲーションと合うケーブルを別途ご購入いただき、【別売品】RCA ケーブルと接続して使用して下さい。
(ナビゲーション端子に合うケーブルのお買い上げ時は端子プラグの極性を確認してナビゲーションメーカーにお問い合わせください。XLDR-801 プラグの極性は、P.24 を参照して下さい。) 本体 AV 出力端子とナビゲーション Video 入力で互いに接続して映像出力を確認します。(ナビゲーションの外部入力、または AV 接続の項目を選択する)
- 2) SET ボタン (F) でメニュー表示し、∧、V ボタンでオプションの項目の [6.Player] を選択します。
- 3) EVENT、NORMAL フォルダを選択して映像を確認することができます。各フォルダを選択すると最近映像から逆順に映像を確認することができます。
- 4) ∧、V ボタン を使用して映像ファイルを選択することができます。
- 5) 手動録画ボタン (P) を短く押すと再生映像を一時停止 / 再生が出来ます。長く押すと次のフォルダ (EVENT→NORMAL) を再生することができます。
- 6) 再生中 SET ボタン (F) を押すと再生を終了して映像録画を開始します。

専用ビューアーをインストールする方法

1) SDカード内の CDVR_Player_Setup(バージョン).exe 実行して専用のビューアーを PC にインストールします。

① SD カード内のインストールファイル CDVR_Player_Setup(バージョン).exe を実行します。案内に従ってすべて「次へ」で進みます。



専用ビューアーをインストールする方法 (つづき)



完了したらデスクトップに専用ビューアーのアイコンが生成されます。



※SDカードにはビューアーソフトウェアが同梱されていますが、一旦フォーマットされるとファイルが消されてしまいますので弊社ホームページよりダウンロードしてください。 <http://www.watex-net.com/xldr801-viewer.html> または、Smart Manager 画面 (P.26 参照) よりダウンロードしてください。

※お願い

ビューアーのインストール時や起動時にごく稀ではございますが、ウイルス検出ソフトが反応してしまう場合がございます。SDカードには、Autorun.inf というファイルが生成されていますので、アンチウイルスソフトの設定で、「このプログラムの拒否を解除します」または、「ブロックを解除」にしてご使用ください。

専用ビューアーの機能説明と映像確認する方法

撮影された映像は専用ビューアーや一般のプレイヤーなどでも確認することができます。
※ただし、運行速度および地図の確認は、専用ビューアーのみで確認可能です。

【専用ビューアー機能説明】



① WATEX ホームページへのリンク

② 環境設定ボタン：

③ 録画時間情報、録音情報、GPS の接続情報、ファームウェアのバージョン情報

④ G- Sensor (衝撃センサー) のグラフ情報ウィンドウ

⑤ 録画のコントロールボタン

⑥ 再生速度、画面の明るさ、音量調整

⑦ 運行速度の表示 (k m / h)

⑧ 写真撮影：再生中のビューアー全体の写真撮影

⑨ 再生リスト / 地図 /

⑩ 再生リストの並べ替え (形態、日付、ファイル名を区別して並べ替え可能)

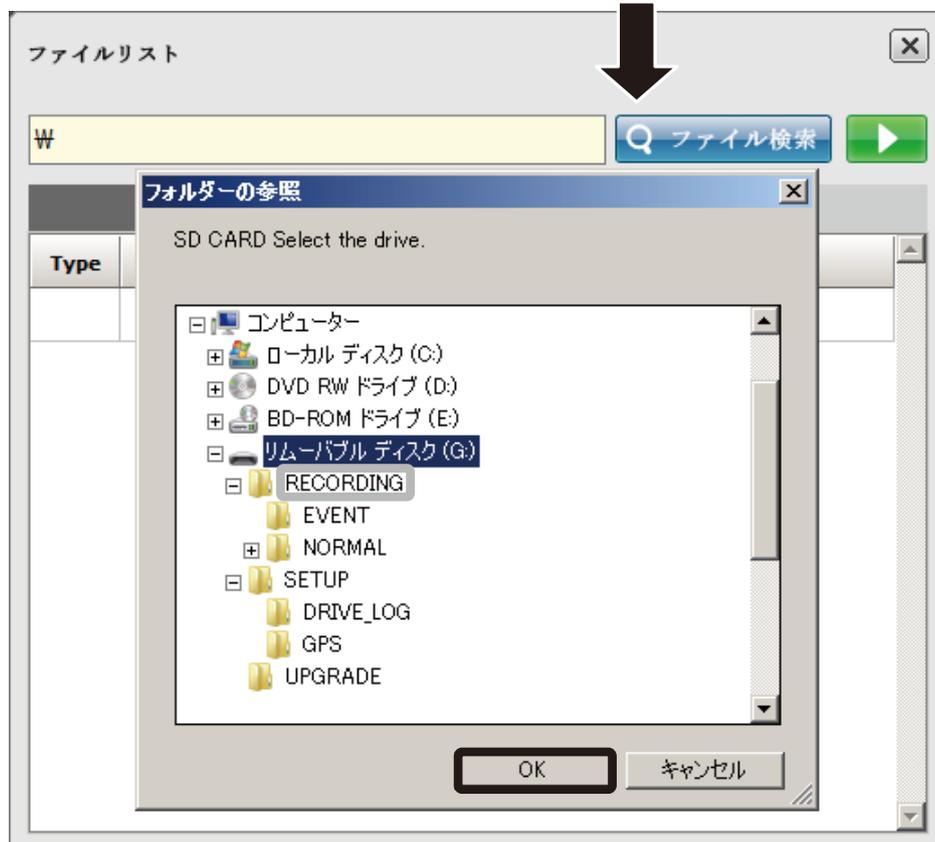
⑪ 情報ウィンドウ (N : 常時録画 / E : イベント録画)

⑫ 再生リストの削除ボタン / 地図を大きく拡大ボタン (⑩項目の地図選択時のボタン有効)

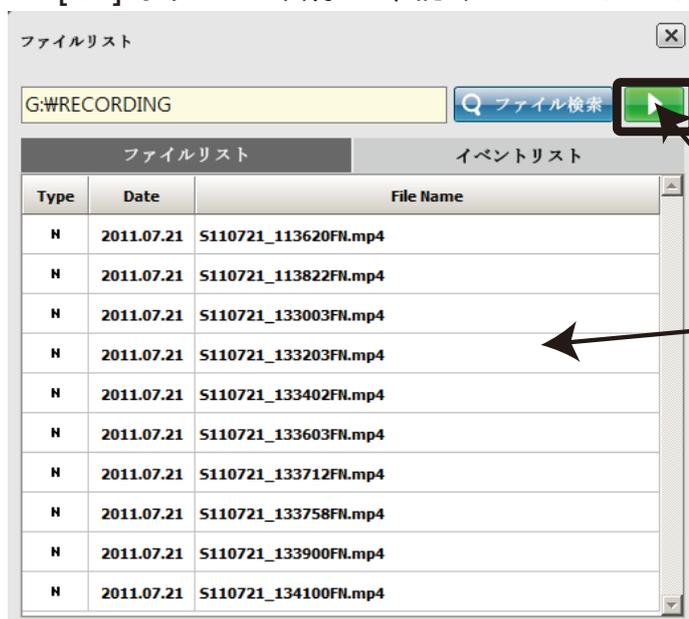
専用ビューアーの機能説明と映像確認する方法(つづき)

【映像を確認する方法】

- 1) 付属カードリーダーを使用してSDカードをパソコンと接続します。
- 2) 専用ビューアーを開き、[▶]再生ボタンまたは[▲]ファイルを開くボタンをクリックします。



- 3) 再生したいフォルダを選択します。↑
 - RECORDING フォルダを選択するとすべての画像の選択が可能です。
 - EVENT、NORMAL の個々のフォルダ単位でも選択可能です。
 - ファイルリストではファイル単位での選択可能です。
 - [▶] ボタンで映像を確認することができます。



そのまま何も選択せずに [▶] ボタンをクリックすると全てのファイルが再生できます。

ファイルを選択して [▶] ボタンをクリックすると見たいファイルだけ再生できます。

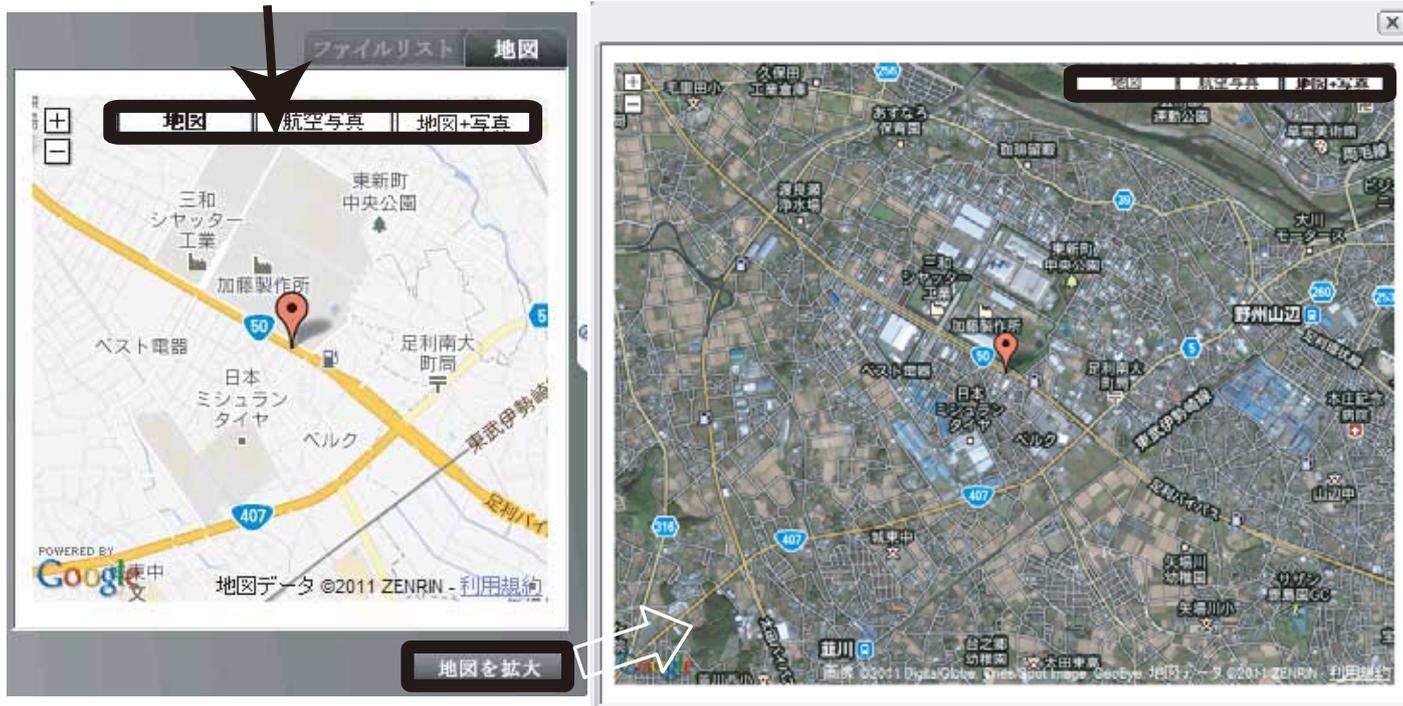
専用ビューアーの機能説明と映像確認する方法(つづき)

4) 地図でユーザーの運行ルートと位置を確認することができます。

- 拡大表示

地図を拡大

- 「地図」「航空写真」「地図+写真」の3種類の表示方法があります。(Google map)



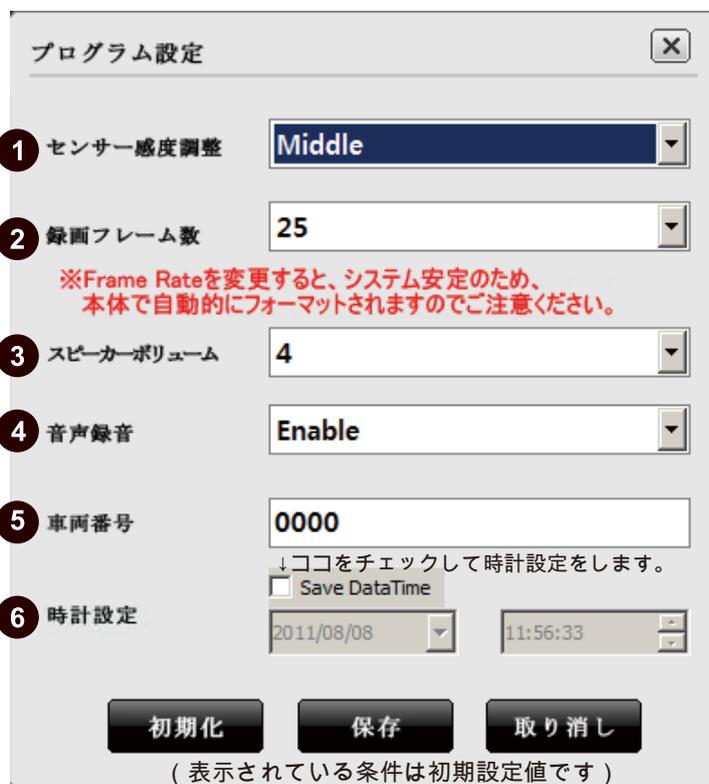
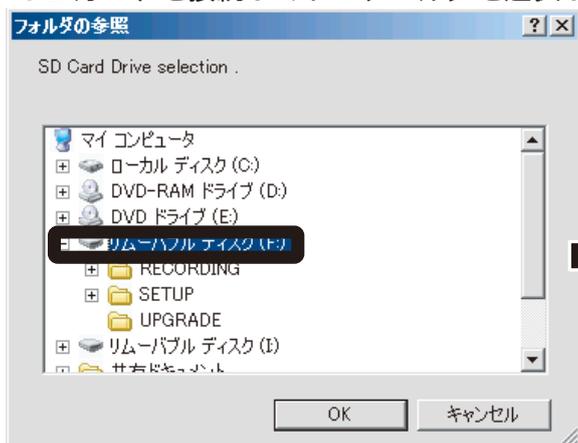
5) 専用のビューアーを利用した XLDR-801 の設定方法

専用ビューアーの  (製品の環境設定) ボタンをクリックします。

製品の環境設定ボタン



SDカードを接続しているフォルダを選択します。



①～⑥の設定ができます。⇒

- ① センサーの感度調整 (5段階)
- ② 録画フレーム数 (20/25/30Fps) ※1
- ③ スピーカーの音量 (0 ~ 5)
- ④ 音声録音 (有 Enable/ 無 Disable)
- ⑤ 車両番号の登録 (入力してください)
- ⑥ 時計設定 ※2

※1 録画フレーム数を変更すると、ファイルシステム安定のためドライブレコーダー本体でSDカードが自動的にフォーマットされますのでご注意ください。(P.9参照)

※2 時計設定は、画面上で設定できますが、通常GPSより時間情報を入手しますので設定不要です。

F A Q (よくある質問)

1) 画像の保存容量はどのくらいですか

A. 常時録画 / イベント録画の 2 つの方法の録画方式があり、容量に応じて保存する時間が異なります。

記録フレーム	4G	8G	16G	32G
30 Fps	約 4 時間	約 7 時間 20 分	約 14 時間 50 分	約 31 時間
25 Fps	約 5 時間	約 9 時間 50 分	約 19 時間 30 分	約 41 時間 50 分
20 Fps	約 8 時間	約 15 時間 20 分	約 30 時間 40 分	約 61 時間 20 分

〈ファイルあたりの録画時間〉

容量別	常時録画	イベント録画
4GB / 8GB	2 分 (120 秒)	30 秒
16GB / 32GB	4 分 (240 秒)	30 秒

上の表の録画時間は録画映像に応じて時間が変更される場合があります。

2) 事故の後、どうすればいいですか

- A1. 相手と事故の状況について話をする場合は、必ずカメラに映るように車の前で話をしてください。
- A2. 事故後 1 時間以内に電源コードを抜いて映像を保存することをお勧めします。
(常時録画の場合、時間が経つと自動的に削除されます。)
- A3. 警察や保険会社に SD カードを提出してください。この時にロック状態で引き渡すことをお勧めします。

3) 映像の確認はどうすればよいですか

- A. 撮影された映像は、パソコンおよびナビゲーションで確認可能です。
P.18 (映像の確認)、P.21 (録画映像のファイルを開く)、P.17、P.23 (環境設定) を参照して下さい。

4) サービスセンターへはどうやって連絡すればよいですか

- A. 弊社お客様サポートセンターの電話番号は **0120-25-3930** です。

5) A/V ケーブルのプラグの極性はどうなっていますか

- A. 右画像を参照ください。
ナビゲーションは弊社の製品と互換性がない
ことがありますのでご確認ください。



6) SD カードはなぜフォーマットが必要ですか

- A. 本体の性質上、ナビゲーション、カメラなどの商品と異なり、頻繁に SD カードヘデータの読み取り / 書き込みを繰り返すため、記録途中で物理的な不良セクタが発生した場合に、削除されません、安定してご使用いただくために、1 ~ 2 週間に一度程度ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをおすすめします。(P.9 参照)

7) LED 式信号機撮影時の対応はどうすればいいですか？

- A. 専用ビューアーのプログラム設定画面で録画フレーム数を (P.23 環境設定②) 関東圏などの 50Hz 地域でお使いのときは、20、30 フレーム
関西圏などの 60Hz 地域でお使いのときは、25 フレームで
お使いいただくことをお勧めします。

その他の注意事項 / 故障かな？と思ったら

その他の注意事項

- ① フォルダ内に格納されている映像ファイルは容量がいっぱいになると古いファイルから順番に削除されます。
- ② 記録された映像ファイルをバックアップしようとする場合にはコンピュータのハードディスクなどの外部記憶媒体にコピーすることをお勧めします。
- ③ GPS未装着の場合は、保存される映像の時間が実際とは異なる場合があります。(P.23、XLDR-801の設定方法(環境設定)の「⑥時計設定」を参照して再設定してください。)

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- ・車のエンジンはかかっていますか？本機は車のアクセサリ電源と連動して電源が入ります。
- ・電源ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

電源が切れない

- ・車種によっては、エンジンのON/OFFに関係なく常時電源が供給されているものもあります。この場合、そのまま使用するとバッテリー上がりの原因となります。アクセサリ電源から電源を取ってください。

映像が記録されない

- ・SDカードが挿入されていますか？未挿入の場合、電源オフ時にSDカードを挿入してください。
- ・SDカードが壊れている可能性があります。SDカードを本体でフォーマットしてください。(バックアップは事前に取ってください)それでも記録されない場合はSDカードを交換してください。

GPS衛星を捕捉しない

- ・空が良く見える位置にセットしていますか？本体のセット位置を確認してください。
- ・ポータブルナビ、GPSレーダー探知機、PHS携帯電話等の電子機器を本機の近くに置いていませんか？これらの機器を本機から離してみてください。

軽いブレーキ操作等のわずかな衝撃でもセンサーが反応してしまう

- ・P.23、XLDR-801の設定方法(環境設定)の「①センサーの感度調整」の値を調整してください。
- ・本体が車体にしっかり装着されていないグラグラな状態ですと、本体が揺れやすくなり、センサーが反応してしまいます。本体は車体にしっかりと取り付けてください。

ビューアーで見た映像にゴミの様な物が映る

- ・カメラ(レンズ部)が汚れていませんか？ウエスや柔らかい布等でレンズ部を拭いてください。

ブラケットが本体にはめ込めない

- ・多少固い作りになっております。注意しながら本体の方へ押し込みながらスライドさせてください。

本体ソフトウェア(ファームウェア)のアップデート方法

〈本体ソフトウェア(ファームウェア)アップデート〉

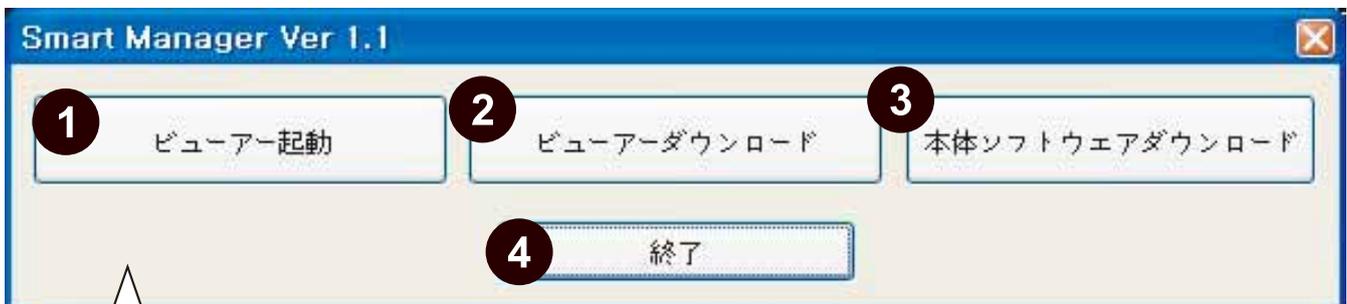
ドライブレコーダー本体の新しい機能を追加したり不具合を修正するために新しいファームウェア(本体ソフトウェア)をダウンロードすることができます。ファームウェア(本体ソフトウェア)は随時更新されます。

〈本体ソフトウェア(ファームウェア)アップデート方法〉

■ Smart Manager画面から本体ソフトウェアをダウンロードします。

※ SmartManager はドライブレコーダー本体で SD カードをフォーマットすると自動的に SD カード内に生成されます。

- 1) ドライブレコーダー本体でSDカードをフォーマットします。
- 2) SDカードをパソコンへ挿入します。
- 3) 下記画面 (Smart Manager)が起動します。
(起動しない場合は、SDカード内のSmart Manager.exeをダブルクリックしてください。)



- ① 専用ビューアーを起動 ② 最新専用ビューアーソフトをインストール
③ 最新本体ソフトウェアをダウンロード ④ Smart Manager画面の終了

- 4) ③ 本体ソフトウェアダウンロードボタンをクリックするとSDカードに最新のファームウェアファイルが保存されます。
- 5) ダウンロードしたSDカードをドライブレコーダー本体に挿入します。
- 6) 本体の電源を接続します。
- アップデートが完了すると自動的に再起動後に映像録画を開始します。

※注意事項とお願い

- ① アップデート時に絶対に電源を切らないでください。途中で電源が切れた場合には故障の原因となる場合がございます。特に、ACC電源を利用したアップデート時は終了するまで車両の電源が切れないよう十分ご注意ください。
- ② ビューアーのインストール時や起動時にごく稀ではございますが、ウィルス検出ソフトが反応してしまう場合がございます。SD カードには、Autorun.infというファイルが生成されていますので、アンチウイルスソフトの設定で、「このプログラムの拒否を解除します」または、「ブロックを解除」にしてご使用ください。

- 弊社のホームページからもファームウェアをダウンロードできます。
URL <http://www.watex-net.com/xldr801-system.html>

映像のバックアップを取る

ドライブレコーダーで記録した映像をパソコンのハードディスク等へバックアップ（保存）することができます。

1) パソコンに保存先フォルダーを作成

データを保存したい場所にフォルダを作ります。



(例) 20110803フォルダ

2) SDカードのデータをコピーして、1)のフォルダに貼りつけます。

①SDカードの入っているドライブを開きます。(下記の場合【F】ドライブ)



②左の図のようなファイルがあるので、保存したいすべてのフォルダを選択して右クリックし、【コピー】します。

③先に作成した保存先フォルダー(例): 20110803 フォルダ上で右クリックし【貼り付け】します。



これでパソコン上に保存されました。

いらぬ映像を削除する

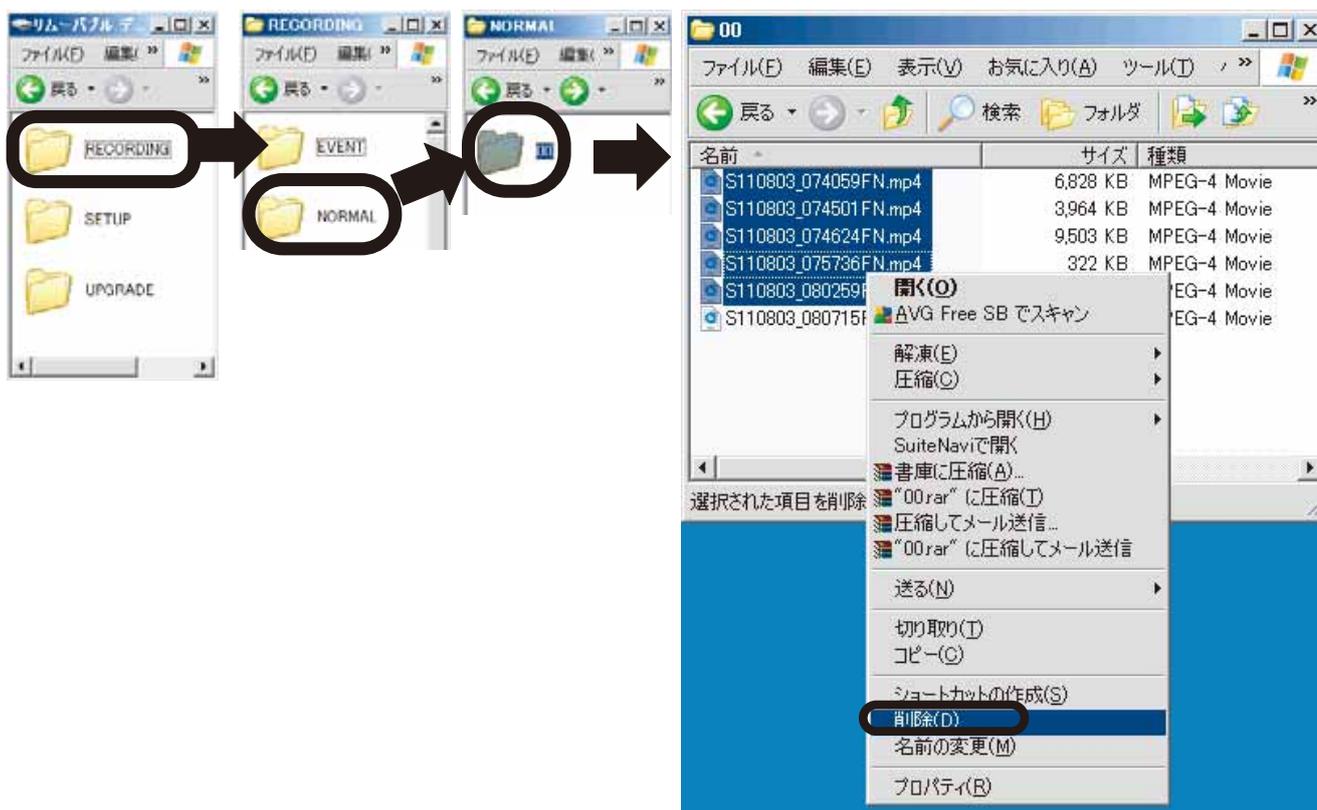
記録した映像の中で、不要な映像を削除することができます。一旦削除したデータは復元しませんので、必要な映像まで削除しないよう、作業は慎重に行ってください。

<削除方法> ※必要なデータはバックアップを取ってください。

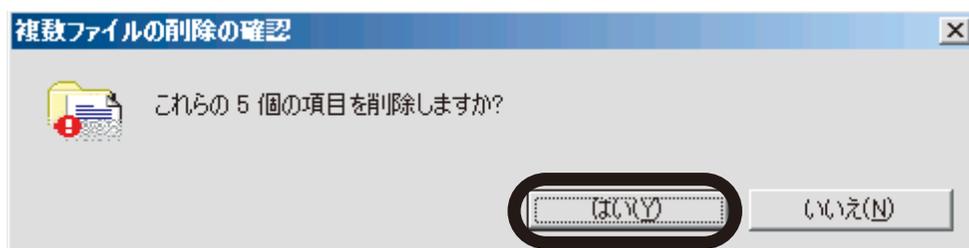
① エクスプローラーでSDカードのドライブを開きます。(下記の場合【F】ドライブ)



② 削除したいフォルダーまたは、ファイルを右クリックし、【削除】をクリックします。



③ 「削除しますか？」と確認メッセージが表示されますので、【はい】をクリックします。一旦削除すると元に戻りませんので、ご注意ください。



製品仕様

外形寸法	92(W) × 55(H) × 35(D)
重量	75g (SD カード含む)
カメラ	150 万画素 C-MOS センサー
カメラ感度	1LUX(@30IRE)
カメラ画角	水平 : 約 77° 垂直 : 約 57° 対角 : 約 100°
映像出力	1Vp-p(@75Ω)
録画保存種類	常時録画 2 分単位、イベント録画 30 秒単位
記録データ	録画、録音、加速度センサ情報、GPS 情報 (日付、速度、位置、車速情報)、速度 (車速センサー)
録画解像度	640×480 pix
録画フレーム	30fps / 25fps / 20fps
対応 S D カード	4 ~ 32GB (4GB Class 6、8 ~ 32GB Class10)
録画時間	約 4 ~ 60 時間 ※録画条件、SD カードの容量で変化します。
手動録画機能	あり
音声案内機能	あり
電源電圧	12V/24V
消費電力	2.2W(Max.)
動作温度	-20°C ~ 70°C
PC 環境	Windows XP SP3 / Vista / 7
アクセサリ	電源ケーブル (ヒューズ 2A)、SD カードリーダー、SD カード (4GB)、固定クリップ (貼付け用テープ付き)、ブラケット、GPS アンテナ、EMS 運行管理システム CD、車速センサーケーブル、取扱説明書、保証書

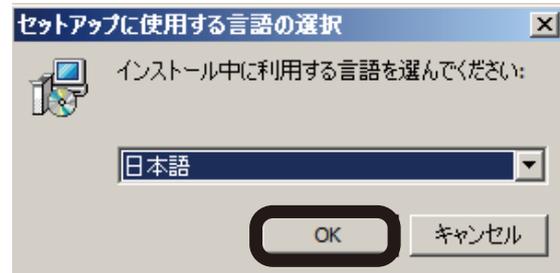
EMS運行管理システム

運行管理システムをインストールする方法

- ① パソコンを起動し、付属の CD-ROM (EMS 運行管理システム) をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
- ② CD-ROM (EMS 運行管理システム) の中の CDVR_Analysis_setup.exe ファイルをクリックして実行します。



実行する



- ③ 画面指示に従ってインストールを開始します。



次のページへ進む



運行管理システムをインストールする方法 (つづき)



- ④ インストールが完了しましたら、デスクトップ上に専用ショートカットアイコンが生成されます。



CDVR Analysis

運行管理システムの使用法

〈 運行管理システムの説明 〉

⑥印刷 ⑦Excel 出力 ⑧環境設定 ⑨ビューアー

① 走行記録データ選択

② 分析期間選択

③ 分析項目

④ 分析結果

⑤ Google マップ

日付	開始 停止	位置	運行距離(km)
2011/12/21	10:16:47	群馬県太田市東新町 ***	3.01
2011/12/21	10:25:24	〒326-0036 足利市伊予	
2011/12/21	10:26:05	〒326-0036 足利市伊予	5.49
2011/12/21	10:45:25	栃木県足利市福原町 ***	
2011/12/21	10:45:55	栃木県足利市福原町	0.00
2011/12/21	10:46:20	栃木県足利市福原町	
2011/12/21	10:46:46	〒326-0036 足利市伊予	7.40
2011/12/21	10:56:00	群馬県太田市東新町 ***	
2011/12/21	11:04:52	〒376-0010 国連50号線	2.07
2011/12/21	11:40:05	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	
2011/12/21	12:10:09	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	1.11
2011/12/21	12:16:23	〒379-2011 国連50号線	
2011/12/21	12:55:10	〒379-2011 国連50号線	0.00
2011/12/21	12:57:45	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	
2011/12/21	14:09:52	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	1.52
2011/12/21	14:14:11	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	
2011/12/21	14:21:04	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	1.76
2011/12/21	14:27:24	群馬県みどり市笠懸町阿左美 ***	

〈 運行管理システムの実行方法 〉

1. GPS データが記録された SD カードを PC に挿入します。
2. インストールした EMS 運行管理システム  をクリックして起動します。
3. 下図の①をクリックし、コンピュータの中から、リムーバブルディスク (SD カード) を選択します。

① 走行記録データ選択

運行管理システムの使用方法

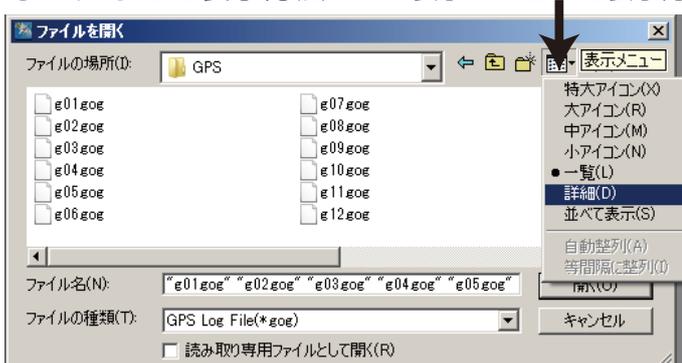
4. リムーバブルディスクの中にある SETUP フォルダから GPS フォルダを選択します。



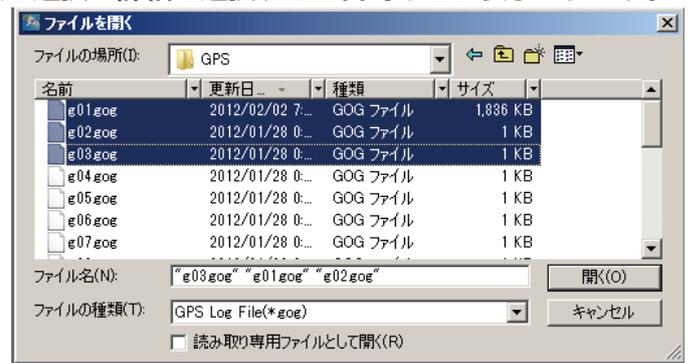
5. GPS フォルダ内にある .gog ファイルの中より分析したいファイルを選択します。 (複数・全選択可)

●ファイルの表示方法

表示メニューで表示方法を選択 詳細を選択すると日時などが表示されます。



↑ (一覧) で表示

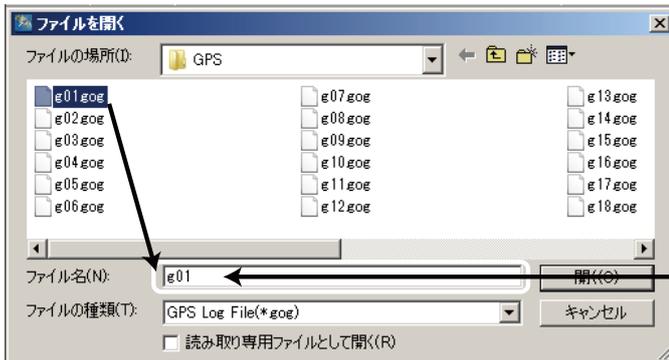


↑ (詳細) で表示

運行管理システムの使用方法

■GPS フォルダ内にある .gog ファイルの選択方法【選択後→開く(O) 開くボタン】

①操作方法としては、マウスでひとつのファイルをクリックします。



※ OS、画面の設定によりウインドウの表示は異なります。

選択したファイルが表示されます。

②全部のファイルを選択する場合

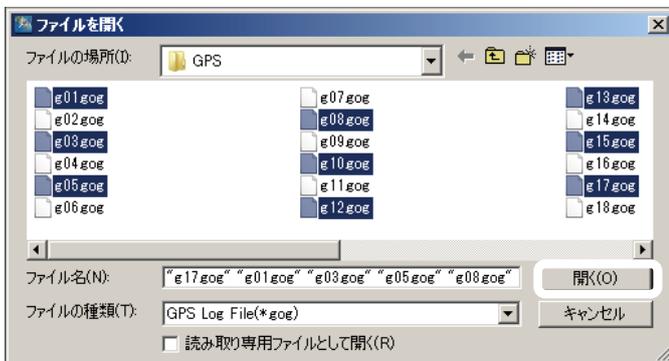
●コントロールキーを押しながら「A」を押すと、フォルダ内のすべてのファイルを一括選択できます。



Ctrl + **A** 全選択

③複数のファイルを選択する場合

●コントロールキーを押しながらフォルダ内の選択したいファイルをクリックします。



Ctrl + 選択したいファイル

●(左下図) g01.gog ファイルを選択してシフトキーを押しながら g06.gog ファイルをクリックすると g01.gog ファイル～ g06.gog ファイルを選択できます。

●(右下図) マウスの左ボタンを押したままドラッグして、四角い範囲を指定することで、範囲内のファイルを一度に選択することができます。



運行管理システムの使用方法 (つづき)

6. 分析期間選択 : 分析する期間を選択し、実行ボタン  をクリックします。

①期間を選択します。分析したい期間の開始日から終了日まで選択します。

←ここをクリックするとカレンダーが表示されます。(直接入力もできます。)



Analysis Ver 1.0P

車両番号 走行記録選択 H:¥SETUP¥GPS

分析開始したい日をクリック → 2012/06/19 ↓分析期間(開始日) ↓分析期間(終了日) 2012/06/19

月を変更します。 → 2012年6月

分析期間選択後、実行ボタンをクリック

分析したい期間の終了の日付を選択します。何も選択しない場合今日の日付が入ります。

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

今日: 2012/06/19

7. 分析項目 / 結果 : 選択した期間に対して分析結果を示します。

(走行日誌、 駐車/ 停車、 急加速、 急減速、 エコドライブ、 燃費、 走行報告)



(A) 走行日誌 (B) 駐車 (C) 急加速 (D) 急減速 (E) エコドライブ (F) 燃費 (G) 走行報告

〈分析結果の説明〉

3 分析項目

(A) 走行日誌

車両のエンジンをかけた時点から切った時点までの走行距離、経路を表示します。該当項目を選択すると Google マップで位置を示します。

(B) 駐車

設定された内容に基づき、駐車情報を表示します。駐車時間をアドレスと一緒に位置を示します。該当項目を選択すると Google マップで位置を示します。

(C)(D) 急加速 / 急減速

設定された内容に基づき、車の急加速 / 急減速情報を表示します。該当項目を選択すると Google マップで位置を示します。

(E) エコドライブ

基準速度と持続時間が両方とも成立した時 (スピードオーバーの状態) のみ情報を表示します。走行時、条件が成立 (スピードオーバー) した場合、本体の LED が赤点滅し、音声で警告メッセージが流れます。

(F) 燃費

満タン法で燃費を計算します。(P.39 参照)

(G) 走行報告

走行日誌に基づき、平均速度、急加速回数、急減速回数、過速距離 (スピードオーバー距離) を総合的に示します。

運行管理システムの使用方法 (つづき)

8. Google マップ：分析結果で選択された位置に対応する地図を示します。

走行日誌
停車
急加速
急減速
エコドライブ

Map data ©2011 ZENRIN - Terms of Use

- 基準：エンジンを切った場合
- 日時：11-09-01(木) ~ 11-11-21(月)

日付	開始	位置
	停止	
2011/11/12	11:31:35	群馬県太田市新田村田町***
2011/11/12	11:49:13	群馬県太田市新井町***
2011/11/12	11:54:11	群馬県太田市新井町***
2011/11/12	11:58:56	群馬県太田市飯田町***
2011/11/12	12:02:46	群馬県太田市飯田町***
2011/11/12	12:06:13	群馬県太田市飯田町***
2011/11/12	12:26:17	群馬県太田市飯田町***
2011/11/12	12:45:46	群馬県太田市新田瑞木町***
2011/11/14	7:31:29	群馬県太田市新田村田町***
2011/11/14	7:58:04	群馬県太田市東新町***
合計		

6

印刷

7

Excel 出力

8

環境設定

9

ビューアー

選択した分析結果を出力します。

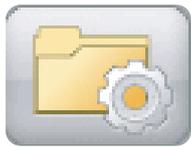
選択した分析結果をCSVファイル形式で保存します。

以下のプログラムを設定します。

- ・ 停車基準
- ・ 急加速基準
- ・ 急減速基準
- ・ 速度単位設定
- ・ エコドライブ速度設定

専用ビューアーを起動します。

運行管理システムの使用方法（つづき）



<環境設定について>

環境設定ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

※SD カードが PC に挿入された状態でのみ設定の保存が可能です。

8

プログラム設定

1 ① 停車基準: Stop Criterion 5.00 km/h 以内 5 分 30 秒以上停止
基本設定値 5.0km/h以内 5分 30秒以上停止

2 ② 急加速基準: Criterion for Rapid Acceleration 5.0 km/h 以上(1秒当たり)
基本設定値 5.0km/h 以上

3 ③ 急減速基準: Criterion for Sudden Deceleration 5.0 km/h 以上(1秒当たり)
基本設定値 5.0km/h 以上

4 ④ 速度単位設定: Unit of Speed km/h

5 ⑤ エコドライブ: 速度設定 80.00 km/h 超過 10 秒 以上 継続
基本設定値 80.0km/h 超過 10秒 以上 継続の場合

保存 取り消し

① 停車基準：速度と停止時間を定義します。

② 急加速基準：1 秒間の速度変化量が設定値以上になった時、急加速となります。

- 抽出されたデータをもとに、1 秒あたりの速度差を小さくすることで急加速から、ふんわりアクセルへの教育につながり燃費改善に役立ちます。

③ 急減速基準：1 秒間の速度変化量が設定値以上になった時、急減速となります。

- 突出した急減速は多くの「ヒヤリハット」が潜んでいる可能性があります。動画の確認および管理者からのドライバーへのヒアリングをお勧めします。突出した急減速＝「ヒヤリハット」の事例を集めることで、原因・対策を共有し、重大な事故の予防ができ、安全教育にも役立てられます。

④ 速度単位設定：km/h のみ

⑤ エコドライブ速度設定：速度と持続時間を定義します。（スピードオーバーの定義）

- 一般道を走る短距離運転と高速道路を走る中・長距離運転とは、別々のスピード設定をすることをお勧めします。

運行管理システムの使用方法（つづき）

〈 燃費の入力方法 〉

燃料を入れた①日付、②時刻を入力、③給油量を入力したのち④燃費計算ボタンをクリックしてください。④燃費欄に計算結果が反映されます。燃費は満タン法を使用しており、給油方法によっては誤差が含まれますので、運行管理上の参考としてください。

※①日付は実際に給油した日付を入れてください。走行記録データの存在しない日付を入力するとエラーになります。

WATEX GPS Analysis Ver 0.1P

車両番号 0000 走行記録選択 H:YSETUPYGPS

走行記録選択期間 2011/12/01 2011/12/26

走行日誌 停車 急加速 急減速 エコドライブ **燃費** 走行報告

日時 : 11-12-01(木) ~ 11-12-26(月)

① 日付	② 時間	③ 給油量(n)	④ 燃費(Km/n)
2011/12/20	13:33:53	10.00	10.00
平均			10.00

日付,時間,給油量を入れてから燃費計算ボタンを押して下さい

⑤ 燃費計算

〈 満タン法とは 〉

一度燃料タンク満タンにしてから次に満タンにしたときの給油量 (n [ℓ]) はそれまでの走行 s (km)) によって消費された燃料なので、 $s \div n$ で燃費 [km / ℓ] を求めることができます。ただし、満タンと判断する燃料の液面の位置や、車体の傾斜によっては給油量が異なることがあり、燃費計算にずれが生じることとなります。常に同じ基準で給油を行うこ

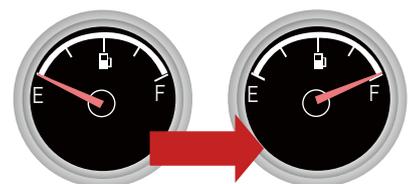
$$s \div n = \text{燃費 [km / ℓ]}$$



満タン給油



走行 (s km) 給油



満タン (n ℓ) 給油